

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 基礎学力と専門の知識・技能の確実な定着 (2) 基本的生活習慣の習得と豊かで逞しい心の育成 (3) 産業界の信頼に応える学力の保証と勤労観の育成 (4) 豊かな人間性や社会性の育成
2 現状の分析	○全校あげた遅刻0週間運動や挨拶キャンペーン等の取組により、落ち着いた学習環境が確立されている。基本的生活習慣の充実を目標に、遅刻防止指導に力を入れており、熱心な取り組みにより遅刻者数は徐々に減少している。 ○平成25年度から始まった文部科学省指定事業研究「多様な学習成果の評価手法に関する調査研究」の成果発表を行った。①学力の質を保証する仕組み作り。②観点別評価に基づいた適切な評価方法の確立。③幅広い様々な能力を高める指導の実践と評価手法の開発などで大きな成果を残した。今後の一層の充実が求められている。 ○基礎学力向上を目指し、始業時間を10分間早めて朝の学習時間を設けた。基礎学力判定テストにおいて成績上昇が見られた。 ▲入学時の学力差が大きく、クラス内・学科間においての実態把握と、きめ細かな指導が必要となっている。
3 学校の抱える課題	・地域に密着した工業高校としての社会的ニーズの維持と今後の新たなニーズに応える学校として、両立を図る必要がある。 ・地元企業から優秀な人材を望まれる一方、基礎学力不足の生徒への学習指導の在り方。 ・基礎的、基本的な学力の習得を目指す取り組みの効果を、どう検証し改善に繋げるか。 ・部活動や資格取得など、授業以外においても生徒の意欲向上が求められている。 ・生活習慣や環境、学習能力の格差が大きい生徒達に、挨拶や身だしなみ、交通安全マナー意識向上を図るための具体的な指導法。
4 今年度の具体的な重点目標	1. 遅しく生き抜くための基礎学力の定着と、専門知識・技能の習得を図る「チームワークでつくる可児工の確かな教育力」 2. 社会人としてのマナーやモラルを身につけた生徒の育成「生徒のことを思いやる心と共感的な生徒理解」 3. 地域社会や地域産業から期待され、信頼される学校づくり

年 度 目 標			年 度 末 評 価			
5 評価項目 領域・分野	6 重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	7 達成度の判断・判定基準 あるいは評価指標	8 取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	9 評価 A・B・C・D	10 成果と課題	11 総合 評価
教育課程 学習指導	①基礎基本の定着を徹底する ②授業改善を目的に研修を充実	①診断テストの実施 ②生徒アンケートの分析	①基礎学力診断テストの分析 ②公開授業週間や職員研修の開催	B A	○基礎学力定着に向けた診断ツールの効果的な活用	A B C D
キャリア教育 進路指導	①進路ガイダンス機能の充実 ②主体的な進路選択意識の醸成	①就職希望者全員の内定確保 ②就職進学活動の積極性	①外部講師の協力を得て5回以上実施 ②進路選択に明確な目標を持たせる事	B B	○ガイダンスや体験が進路意識の高揚	
生活指導 コミュニケーション能力 の育成	①多様な生徒に対応できる、指導法の研修と実践 ②基本的な社会マナーの定着	①個人のスキルアップと組織としての指導力の向上 ②外部からの評価	①問題行動の減少と退学者の減少 ②各種イベントへの積極的な参加	B A	○多くの生徒が積極的に取り組む姿勢が目立った ▲効果的な情報の共有化	

II 学校関係者評価

実施年月日：平成28年1月29日

・地域の行事に積極的に参加されるなど、地域に密着した工業高校としての役割を果たしてくれている。  
・今後も地域と連携した活動を期待している。  
・豪州の姉妹校連携などの機会を生かして、英語教育の充実を図って欲しい。

12 来年度に向けての改善方策案

・多様な生徒対応のため、教育相談体制の充実を図り援助体制を強化する。  
・魅力ある授業を目指し、指導法の工夫や授業改善に向け職員研修を充実させる。  
・生徒の意欲を引き出す効果的な評価の在り方を、学校活動全般に位置づける。  
・生徒の学力を引き出す評価の研究を具体化させ、結果の検証ができる

